

令和6年度概算要求総額

4,030百万円（学術研究基盤事業+教育研究組織改革分）

基盤的設備等整備分については、教育研究組織改革分での要求の設備部分となるため、上記概算要求総額からは除外しております。

学術研究基盤事業

（令和5年度予算額）

超高温プラズマ学術研究基盤(LHD)計画【継続】 3,536百万円（3,050百万円）

教育研究組織改革分

核融合科学学際連携センターの機能強化

～核融合科学の学際的展開と頭脳循環を駆動する戦略的イニシアティブ～ **【新規】**

494百万円（0百万円）

基盤的設備等整備分

フュージョンテクノロジー高度化研究基盤設備の整備【新規】（再掲）

197百万円（0百万円）

【趣旨】

核融合科学の学際化を進め、既成分野を積極的に越境する挑戦的な共同研究が展開できるよう、研究教育組織を改革するとともに、世界最高水準の研究が行えるよう研究基盤を強化する。

- ✓ **学術研究基盤事業**: 世界最高性能のプラズマ内部現象診断力をもつ大型ヘリカル装置LHDを超高温プラズマ学術研究基盤として活用し、核融合科学の中核的な課題群に挑戦する世界トップレベルの共同研究(世界最高の時空間分解能計測器群による超高温プラズマ内部現象の解明)を実施する。
- ✓ **教育研究組織改革**: 核融合科学の学際的展開のイニシアティブをとるために新設した核融合科学学際連携センターの機能強化を図り、核融合科学研究所が有する研究プラットフォームに加え、国内外の主要な研究施設及び産業界をネットワーク的につなぐ高度な共同利用を実現する。
 - オープンサイエンスの基盤整備による最先端研究のデータ共同利用推進 → 学際化と人材育成
 - 開発研究機関(QSTなど)の研究施設共同利用体制の構築 → 学術と開発の二元的連携の強化
 - 産学連携構築のためのコミュニケーション強化 → 核融合技術の社会実装に向けた産業ネットワークの構築
- ✓ **基盤的設備整備**: フュージョンテクノロジーのゲームチェンジャーになり得る革新的技術のイノベーションを可能とする世界トップレベルの研究プラットフォームを構築し、学際的かつ国際的な共同研究を実施する。



核融合科学・技術の特性を多面的に活かし、**カーボンニュートラル**社会の実現に貢献するために、従来の専門領域を超えたエネルギー・環境科学技術の**異分野融合**を多角的に駆動し、専門性の壁を破壊するイノベーションを実現できる国際的リーダーを育成する。